

第8回PhDリクルートフォーラム開催報告

2023年 12月14日（木）PhDリクルート室

開催日 : 2023年12月5日 (木) 10:15~19:00

開催場所 : アートホテル新潟駅前

参加博士学生 : 20名

- ・ **研究員**
 - 新潟大学 18名
 - 富山大学 1名
 - 兵庫県立大学 1名

参加企業 : 12社

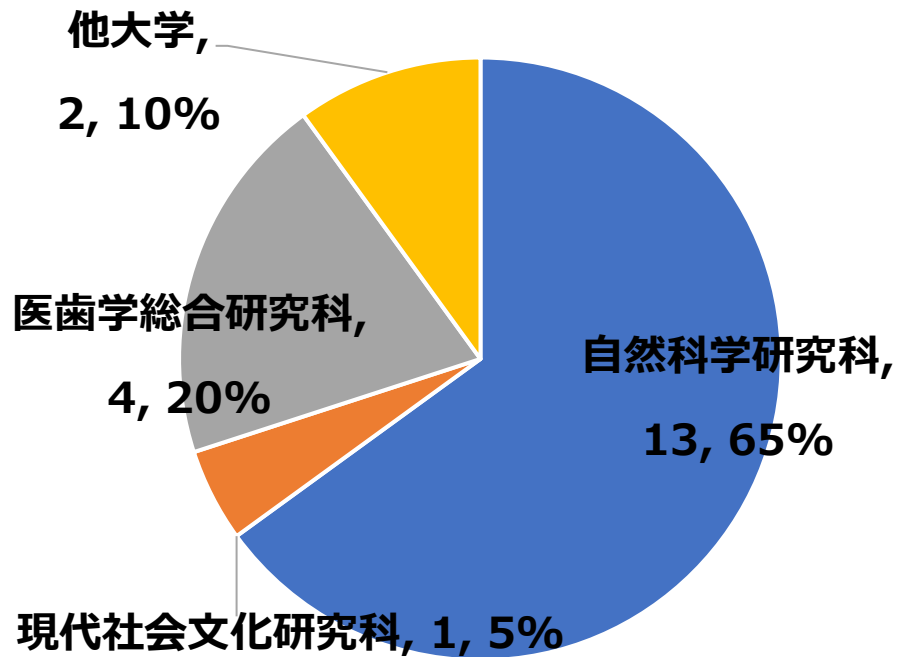
住友化学、ヘンケルジャパン、D4cプレミアム、デンカ
日本入試センター、TDSE、レゾナック、Cuon
Meiji Seika ファルマ、高砂香料工業、とめ研究所
みずほ第一フィナンシャルテクノロジー

アンケート回答者数 : 博士学生20名、企業16名

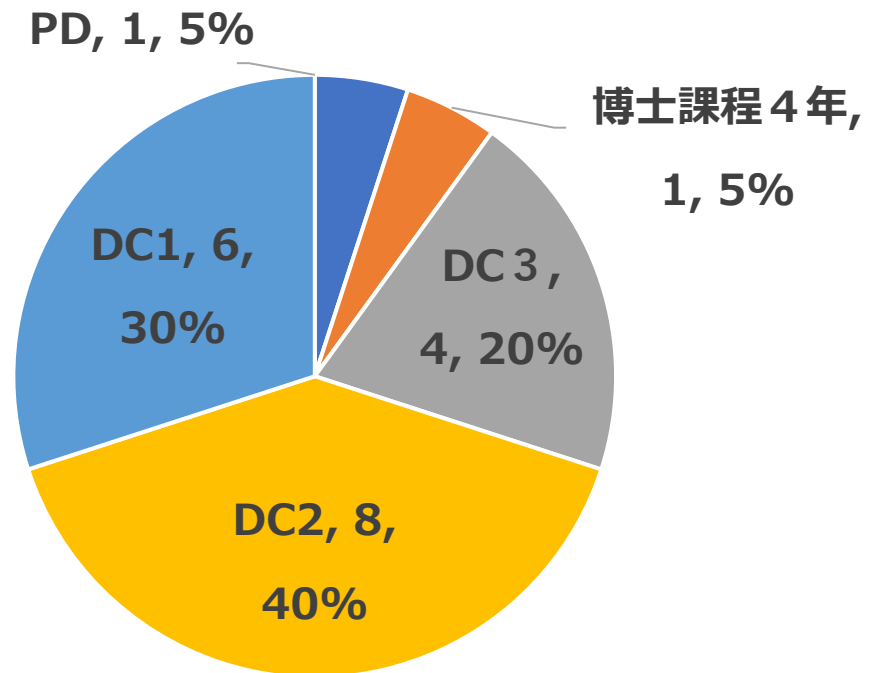
(参加者数 : 博士学生20名、企業23名 (12社))

【博士人材】 属性

■ 所属



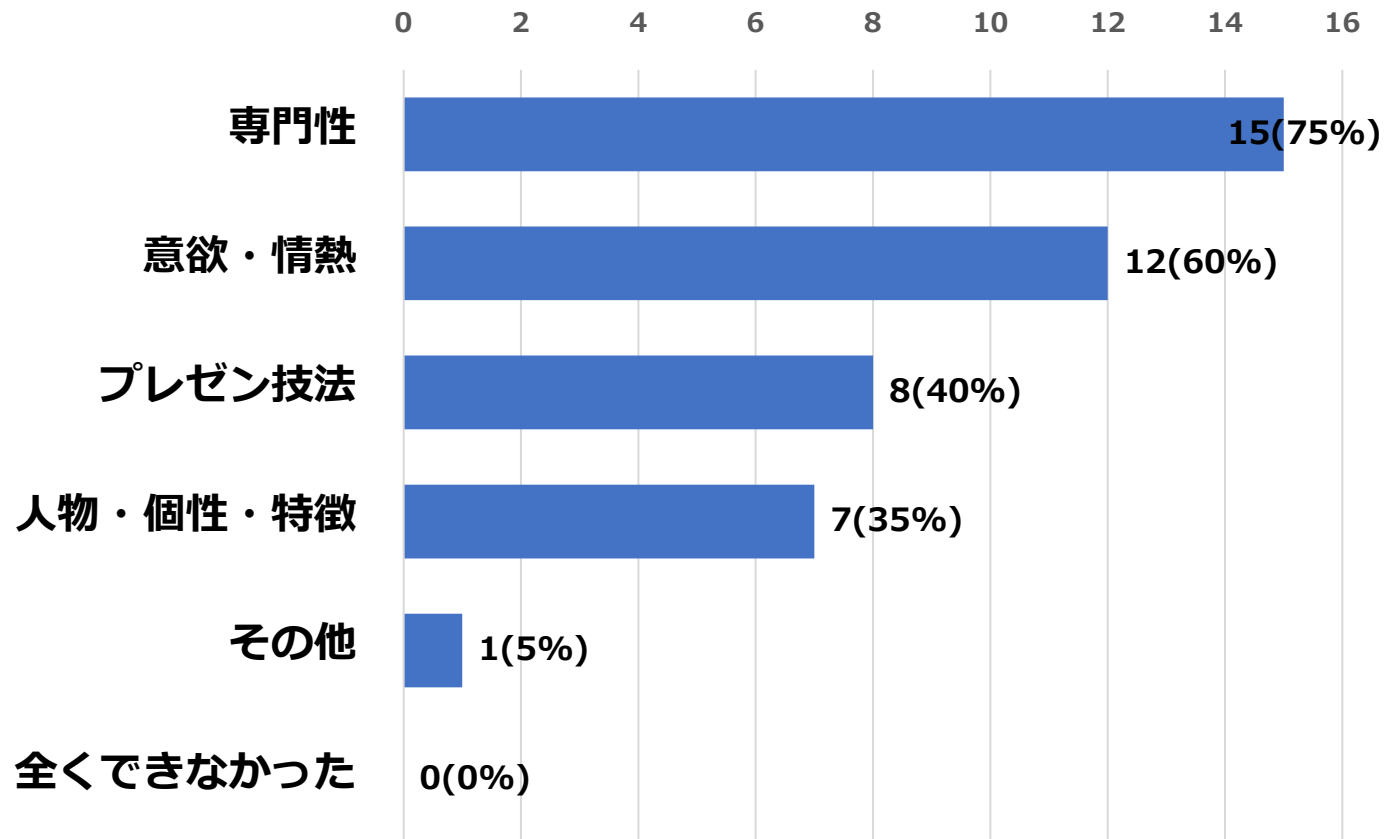
■ 学年



【博士人材】

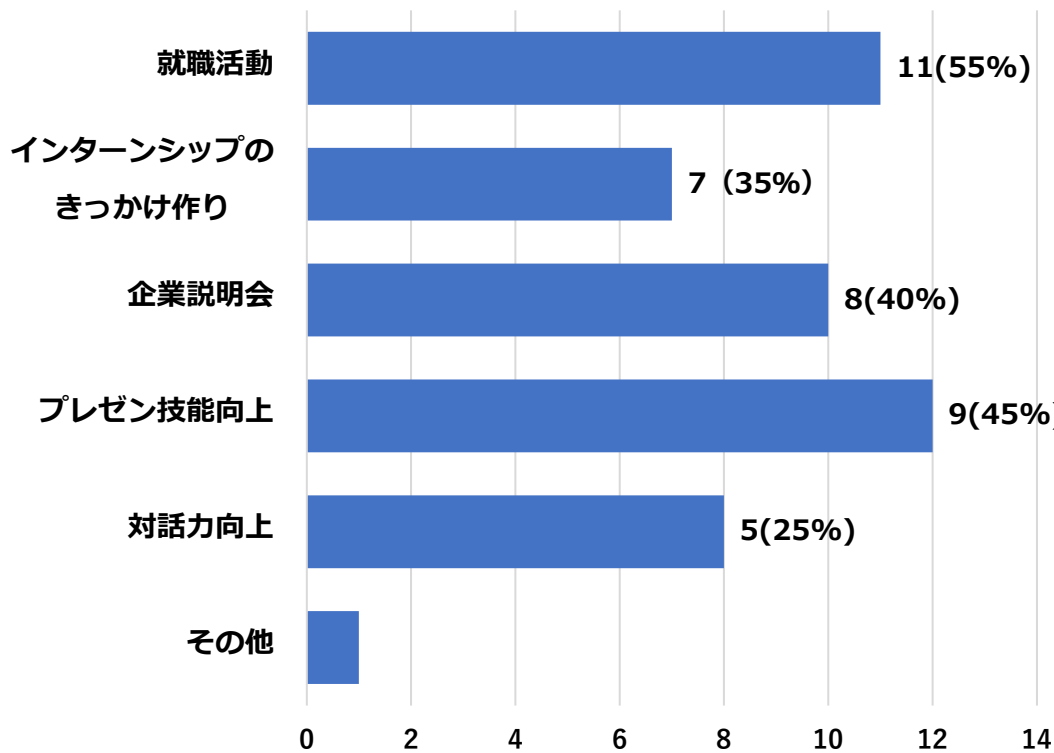
ポスター発表でアピールできた部分はどこですか？（複数回答可）

20件の回答

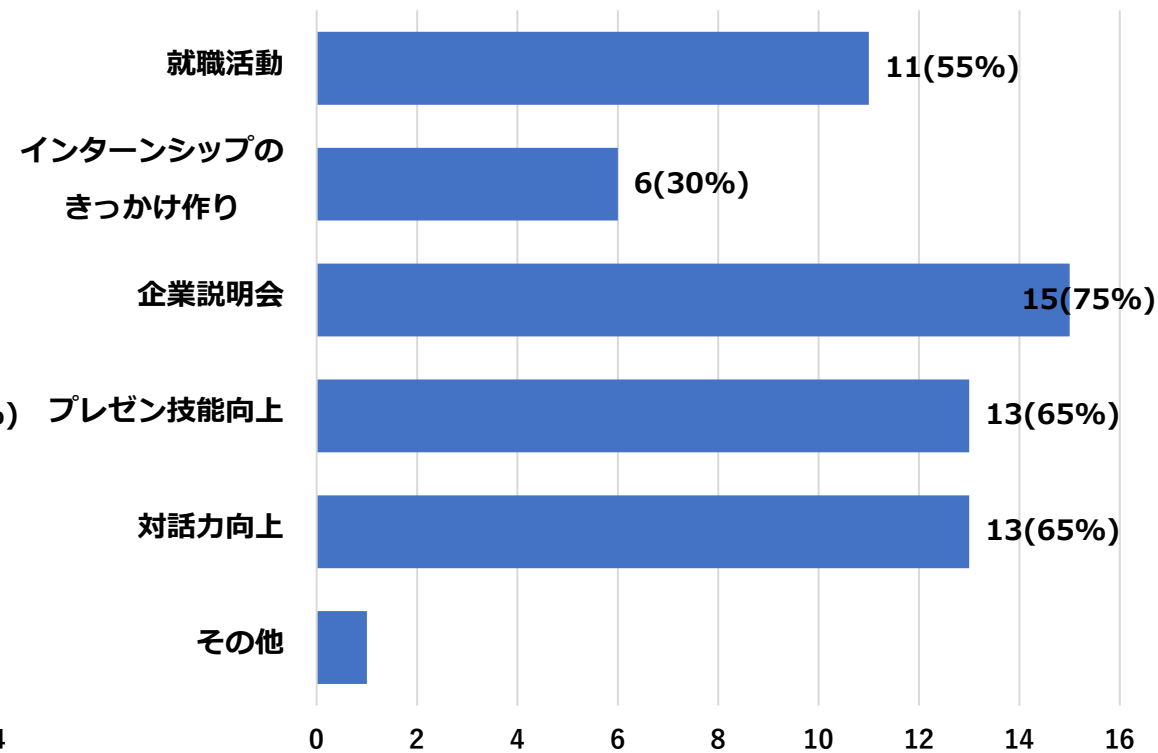


【博士人材】 PhDリクルートフォーラムのイメージについて

■ フォーラム参加前 (複数回答可)
 20件の回答

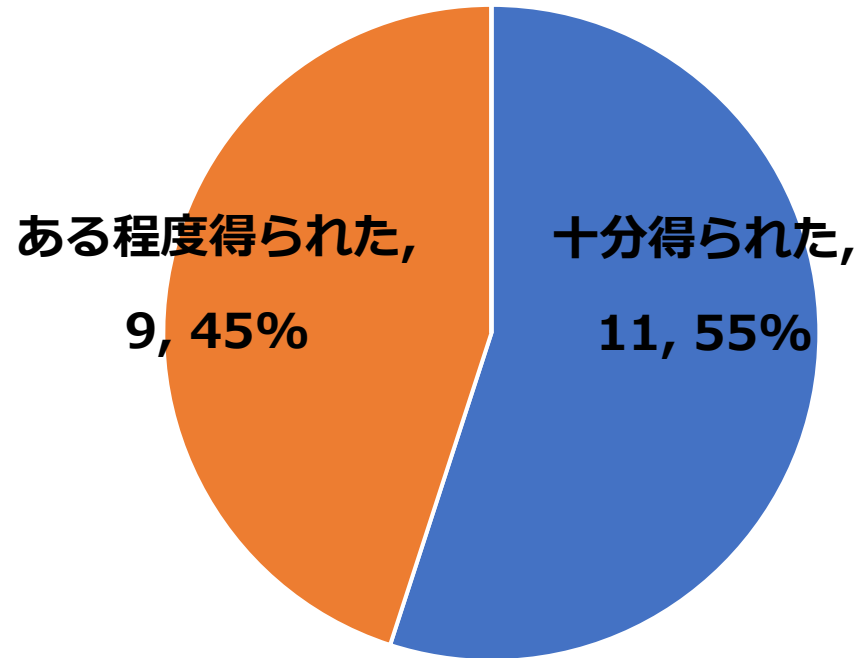


■ フォーラム参加後 (複数回答可)
 20件の回答

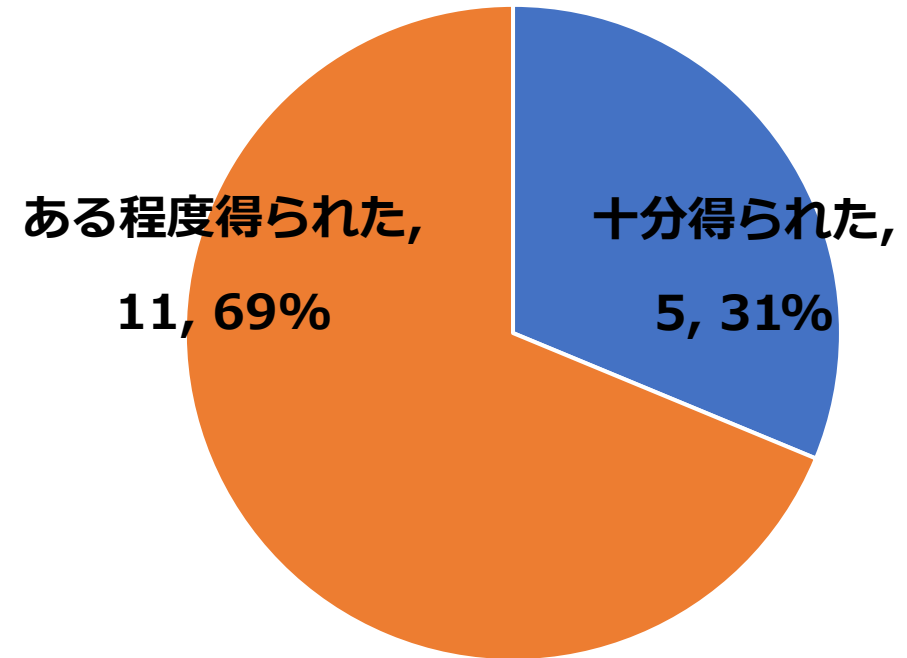


【博士・企業共通】フォーラムを通して有益な情報を得られましたか

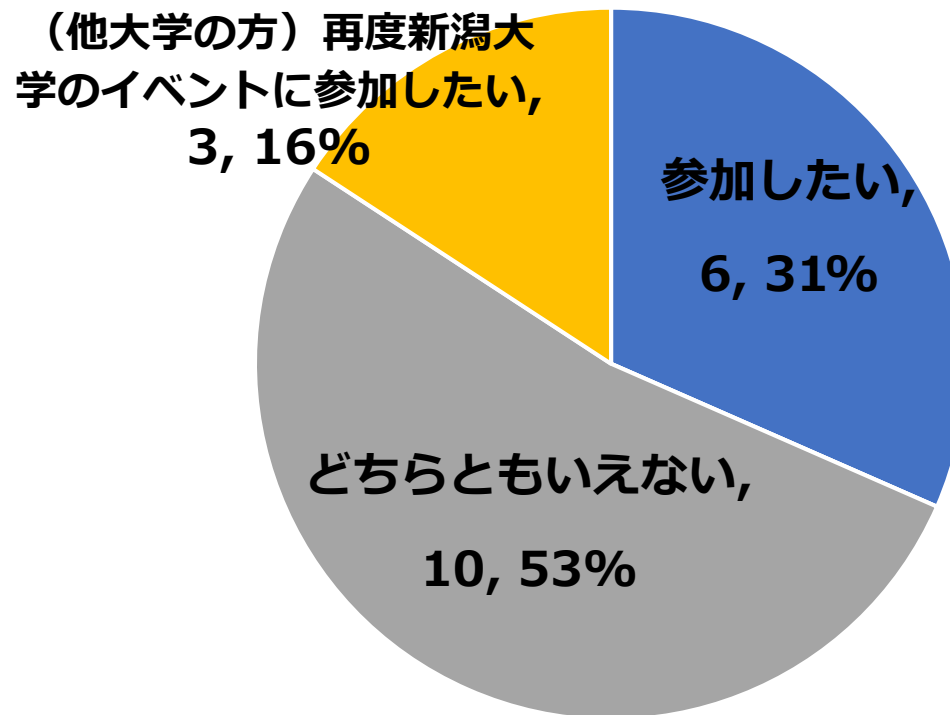
■ 博士学生・研究員



■ 企業

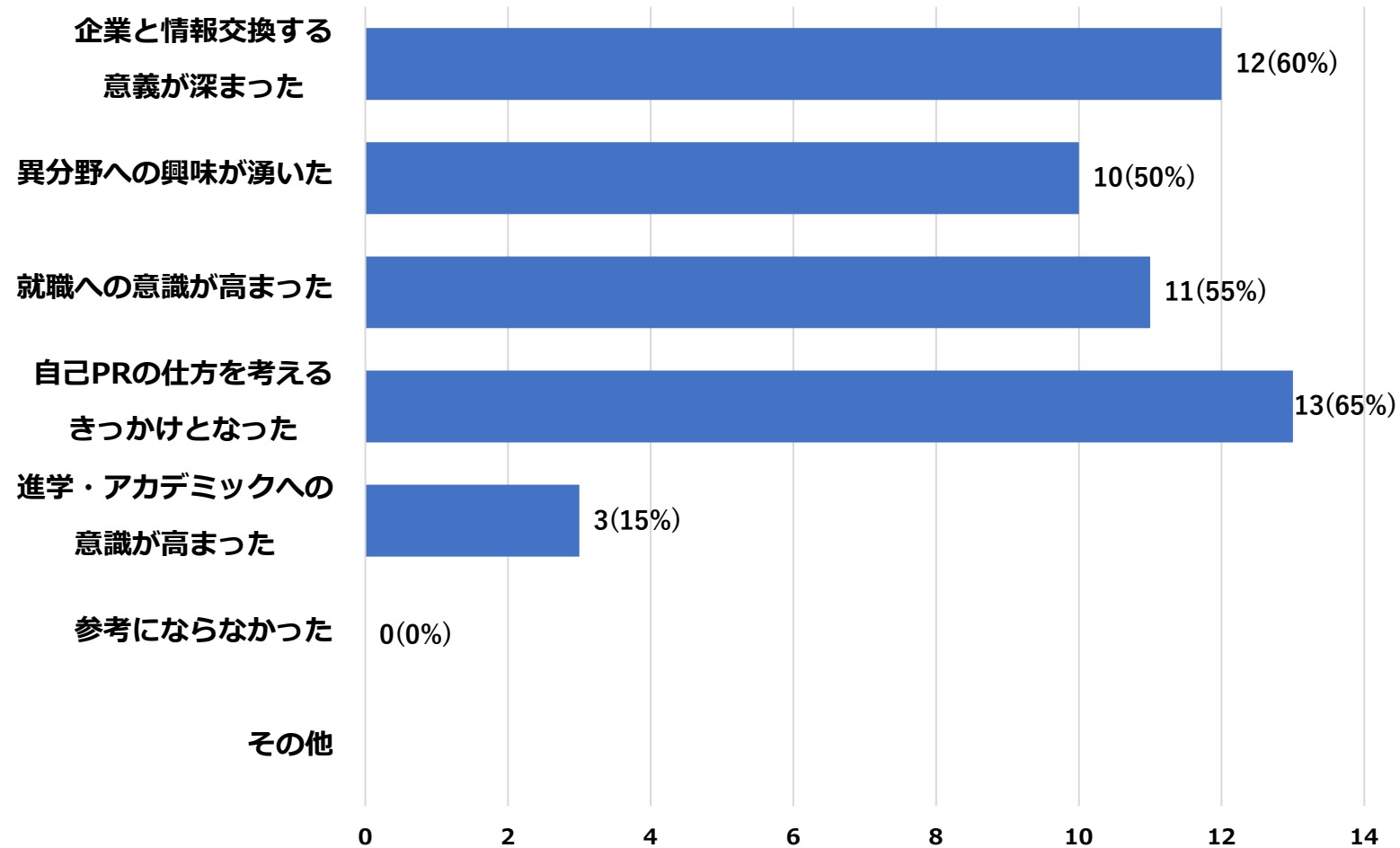


【博士人材】博士人材育成コンソーシアムの取り組みで、所属大学以外で実施している本イベントのようなマッチングイベントについても参加が可能です。他大学のイベントにも参加したいですか？



【博士人材】意識の変化について

PhDリクルートフォーラムを通して、意識の変化はありましたか？（複数回答可）
 20件の回答



【博士人材】

PhDリクルートフォーラムに参加をして新たな気づきはありましたか？

過去5年の実務経験があるので、今日は日本での就職レベルについて考えることができました。日本企業には中堅の入社レベルがあり、どのようなスキルが必要かについて学ぶことができました。

自分の調査方法とデータサイエンスとの関連性を感じた。

自分が思っている事と企業が思っていることのギャップ

PHD学生の専攻は重要点ではないと思います。

今後企業との共同研究を目指す上で、どの企業がなんの共同研究を実施しているかという動向を知ることができました。

最終的に到達したいところはどこか？というような問いがあったが、そこを明確に表現できていないこと

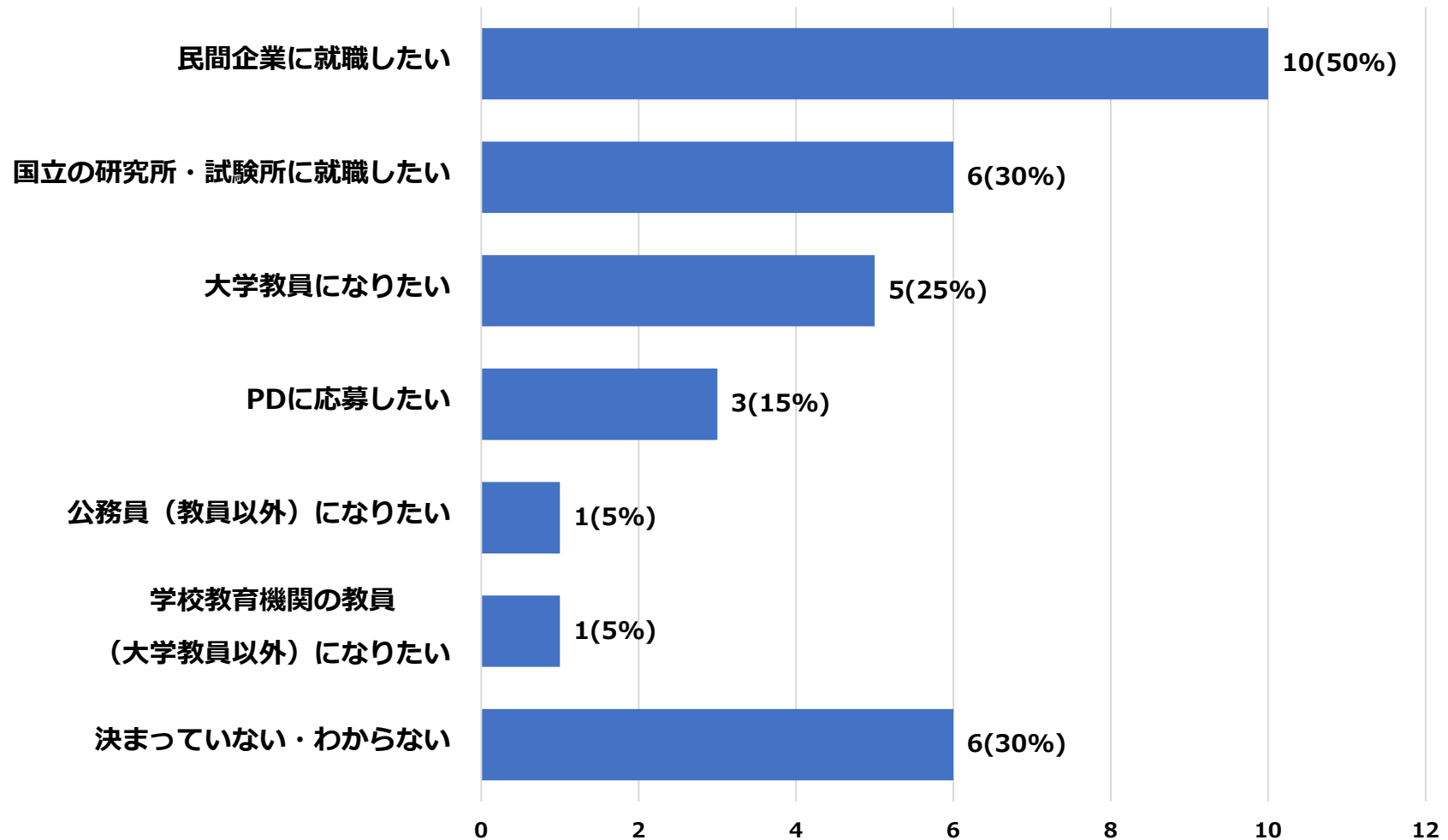
自身のより基礎研究的な内容が、採用担当者の専門分野と異分野である場合においても、具体的な研究内容に興味を持っていただけた。

博士人材を積極的に求人している企業があるということが分かった。IT系の企業が特に多く求人していると感じた。

【博士人材】

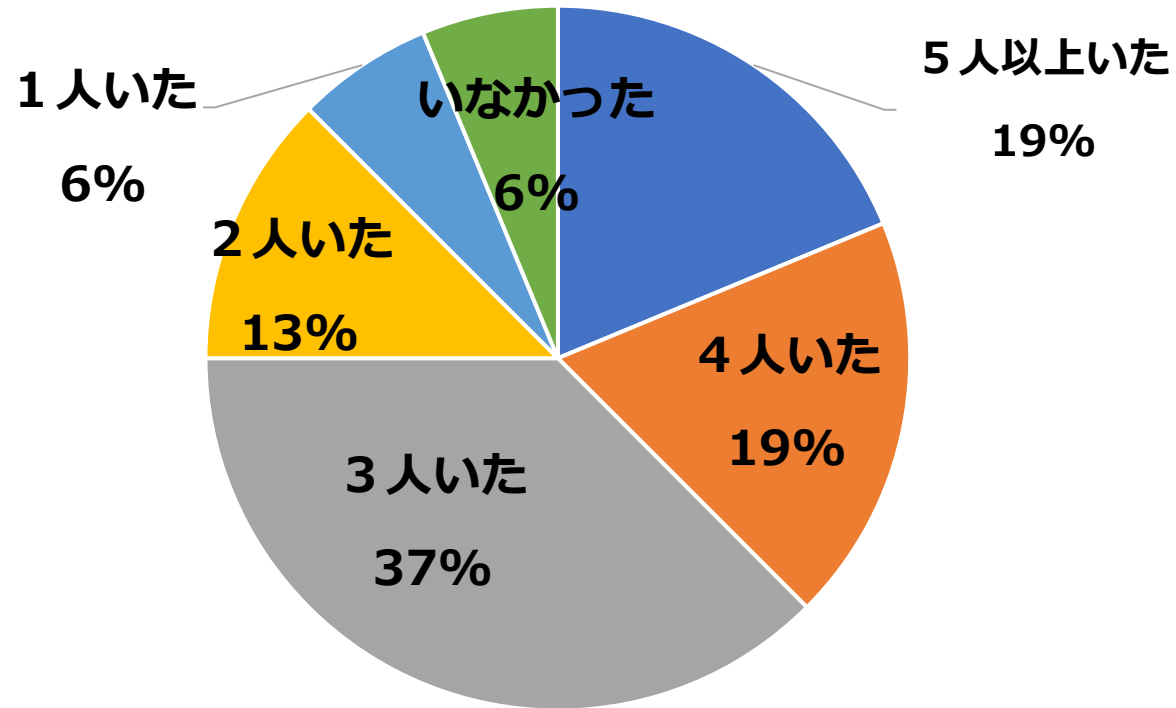
あなたは今後のキャリアパスをどのように考えていますか？（複数回答可）

20件の回答



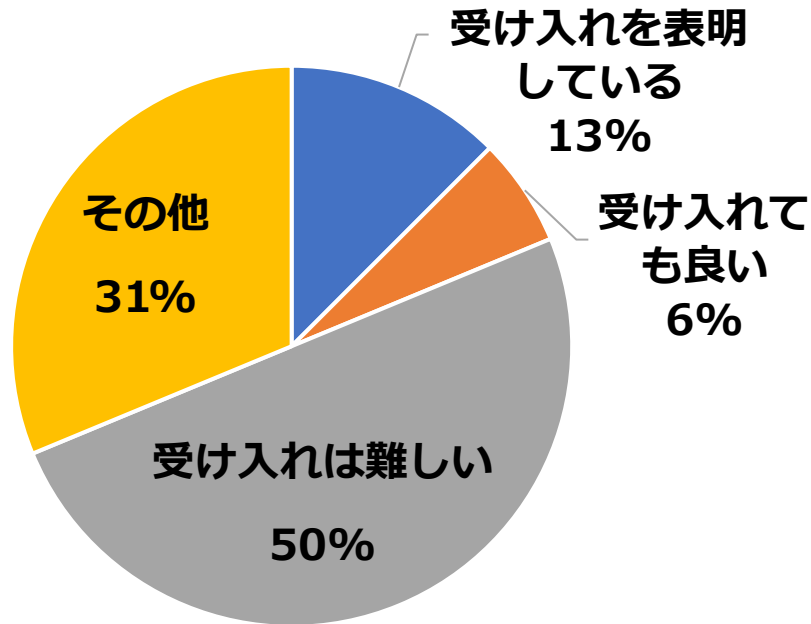
【企業】

興味のある博士人材はいましたか？

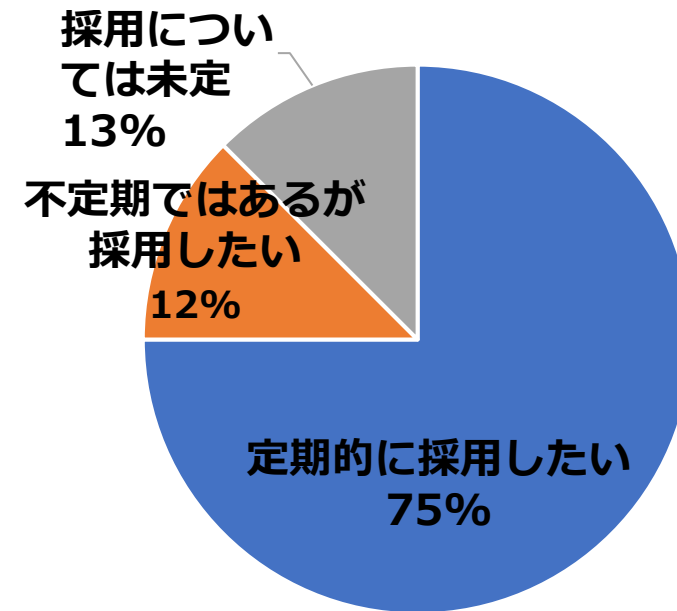


【企業】

■ DC・PDのインターンシップ
 (1ヶ月程度) について



■ PD・DCの採用について



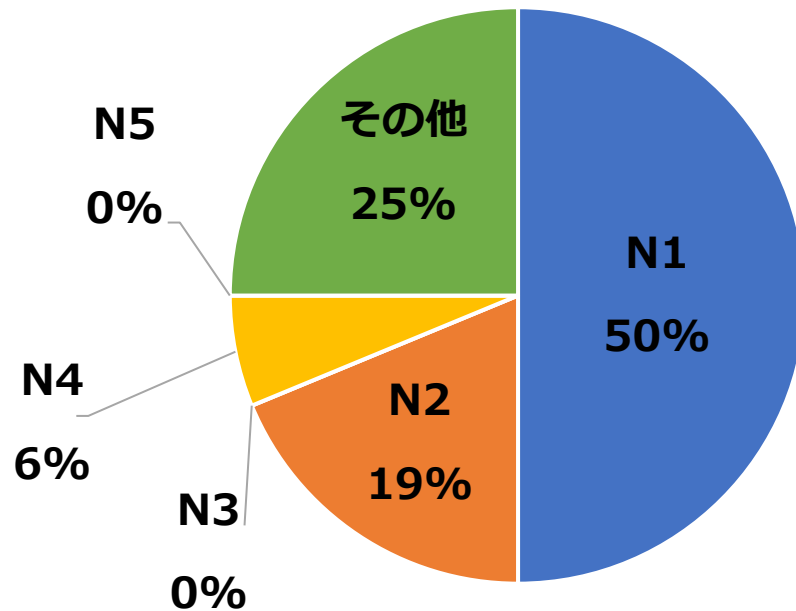
【その他】

今年度のインターンシップは終了
 対面形式の長期インターンシップについては現在検討中ですが、DC・PDのみを対象としたインターンシップの実施は予定しておりません。学士以上を対象とした形式を想定しております。

ジョブ型研究インターンシップに参画している
 適正があり、タイミングが合えば、受け入れても良い

【企業】外国人博士人材（DC・PD）の採用について

■ 応募に必要な日本語レベル



【その他】

資格よりも、実際にお話しをしてみてコミュニケーションが問題なくとれるかを確認しております。

ポジションによるが、基本はN2。日本語が全く話せない非常に有望な場合は各部署に確認する必要がある。

■ 採用実績・今後の意向について

良い人材がいれば採用したいが、日本語必須
 過去より若干名の採用実績がございます。
 特に今年度(24卒)の採用活動においては通常の(日本語ベースの)選考とは別に、英語面接による採用活動を行い、2名の入社を予定しております。本取組は25卒以降においても継続して実施をする予定でおります。

国籍問わず採用しております。
 日本語でのコミュニケーションがビジネス上で問題ないか、選考で確認しております。

弊社では、顧客コミュニケーション、社内文書・手続等は日本語ベースなので、ある程度の日本語力は必須だが、国籍については不問（就労ビザがあることが前提）。

日本語でのコミュニケーションに支障のない外国人博士人材については、従来通り採用を継続したい。

実績あり。

新卒にて外国人博士人材の採用実績はございません。

当社は博士出身のエンジニアが8割在籍しており、博士人材にとって居心地の良い環境です。通年採用をしておりますので、民間への就職を検討された場合はいつでも応募してほしいと思います。

【博士人材】

全体を通してPhDリクルートフォーラムについてのご意見、ご要望など記入ください。

各企業の理念がとてもよく分かりました。

考えられるキャリアパスについて詳しく知りたい

PhDリクルートフォーラムへの参入企業がさらに増えることを期待しています。

Well organised

博士との交流そのものも有意義でしたので、参加メンバーとの交流機会をもっと設定してもよいのではと思いました。

色々な方と喋れて面白かったです！学会以上に研究に興味を持ってもらえた。

この機会をありがとうございました。本当に感謝しております。

ご参加させて頂きありがとうございます。たくさん情報を集めて、対面企業と話して、企業は博士の注目点を深くわかりました。

異分野なのか同じ専門性を持つ人かによってプレゼン内容を変えながら、コミュニケーションを図る経験ができました。貴重な機会をいただきありがとうございました。

・いくつかの企業は「専門分野問わず」とは言っても、そもそもポスターを見に来ないところもあったので、あまり異分野に興味がないのだろうと感じた。(私のPR不足または時間が足りなかった可能性もあるが)そうであれば、〇〇社のように、望まれる博士像で分野を限定してもらったほうがよいと感じた私は視野の拡大という目的を持って参加した。その意味で、逆に選択肢が狭まったように思う。しかしそれは、今の段階でそれを知ることができるのは進路選びに失敗しないための情報になるので、私にとっては無駄ではなかったと思う。ただ次回以降は、分野が近い企業が参加しないのであれば、私も参加しないと考えている。

・ポスター発表上位者のどこが高評価だったのかを参考にしたいので、学生にフィードバックしてもらえると嬉しい

【博士人材】

全体を通してPhDリクルートフォーラムについてのご意見、ご要望など記入ください。

ポスター発表の際、企業の方は人事系/技術系の所属に依らず、学生の趣味や学外活動といった自己PRよりも、研究内容自体に興味を持つ傾向があると感じました。そのためポスター発表時間を2時間程度まで伸ばしていただいて、1企業あたり10分以上の対話時間を取れたら良いなと感じました。

企業との個別交流会のアンケートで、製造業とサービス業を同じくらいの比率で希望を出したが、すべてサービス業になっていた。

このような機会を提供してくださったPhDリクルートフォーラムに大変感謝しております。

博士生が対象としているイベントだと思うので英語版も開催されると参加してみたいと思いました。

今後必要とする就職支援、博士向けのイベントなどがありましたら教えてください。

キャリアパスに関するアドバイス

教育機関に関する就職支援、公募情報の広報などもお願いしたいです。

できれば自分の分野に近い企業と出会いたいです。

みなさまにアドバイスを伺いして、面接でよく聞かれる問題についてお話できれば、大変ありがたいです。

【企業】

全体を通してPhDリクルートフォーラムについてのご意見、ご要望などを記入ください。

学生様と密な交流ができたことは非常に良かった。もう少し参加学生人数が多ければ、さらに有意義な機会となると感じました。

多くの博士学生と会うことができ、また先生方と交流することもできた点で非常に満足しております。

- ・博士学生の方がもう少しいらっしゃるとうれしいです。
- ・学生の方の人数が増えた場合は、企業プレゼンは事前に動画を視聴する形にし、開催時間を少しコンパクトにしても良いかもしれません。

弊社研究所の担当者を選考するためにも、事前にどのような研究分野の学生が参加予定であるのかを知れたら大変ありがたいです。

数学系・理論物理系の人材がもう少し充実していると弊社としては幸甚です。

就職する意思のない方（歯科医を目指していたり、アカデミアに残ることを希望されていたり）が多いのが、少々物足りなかった。

会全体の雰囲気味わうことはかないませんでした。学生の方との交流は非常に有意義なものとなりました。

この機会を通じて弊社に興味を持って頂ける方が増えて下さったらと願う次第です。

急に欠席する学生も少なく、また学生との交流も多くでき、満足しております。

開催いただきありがとうございました。参加者の皆様の大変優秀なポスター発表や交流の時間を通して、皆様の研究活動やお人柄を知ることができました。私たちからのコメントなどで、少しでも刺激になっていれば幸いです。

ただ、今回リクルートフォーラムという名目ではございましたが、参加者の皆様に個別にお話を伺うと、民間就職を考えていない方が圧倒的に多く、企業側の説明に悩んだのが率直な感想でもございます。私たちも初参加でしたので主旨をつかみ切れていなかったかと存じますが、企業がどのようなスタンスで参加するのがよいか、事前情報をいただくとより良い情報提供ができたのではと感じております。

博士人材の方と大いに意見交換ができる場として有意義な会だと感じます。

博士人材を知るよい機会です。今後も継続していただきたく存じます。

【企業】 今後、博士人材へ期待すること、ご要望などをご記入ください。

学生様ご自身の研究にまずはご尽力頂くなかで、様々な経験を積んでいただきたい

少し目的志向が弱いようなケースも見られた

日本の就活市場においては理系学生はマスター修了学生がボリュームゾーンとなっておりますが、是非博士学生にも民間企業への就職に目を向けていただけますと幸いです。

日々の研究活動を大切に、そして、その研究で培った能力はご自身の専攻以外の分野でも発揮できることをぜひ知っていただきたいと思います。

答えの用意されていない実務上の課題を論理的かつ周りを巻き込み、解決できる創造型の人材を期待しています。

個人的な意見として記載いたしますが、真っ当な教育を受けて適切な場数さえ踏んでいれば、修士課程よりもメリットしかないはずなので、ぜひ自信を持って取り組んで頂ければと期待します。

自分は何度言われても実感しようもありませんでしたが、仕事力は生涯学習と経験か身に着けていくものという意味で、博士課程の3-4年で専門性云々という事態にはそうそうならないはずなので、お金と時間に余裕が持てる限りはやりたいようにやったらよいと思います。私は新卒からの10年、博士号取得までの"専門性"は全く使っていませんが、調査・解決能力やプロジェクトマネジメントで挙げられた成果は大学院教育の賜物と感じています。

またこの観点から、キャリアパス教育だけでなく、大学・大学院の間に金融教育も進めるべきだと、この年になってつくづく痛感しています。もし博士課程の時にリアルな金融知識があれば、あそこまで将来への不安に怯える必要はなかったかもしれないし、リスクヘッジのために色々対策を取れたように感じています。いくらあれば老後まで生活していけて、逆にいくら稼げる生業があればどれぐらいの生活をできるのか、生々しいシミュレーションを見れば、学生自らリスクを取るか取らないか考える参考になるのではと思います。

物事を突き詰めて考える力、課題を見つけ解決への道筋を組み立てる力。個人的には、学ぶことや数理を扱うことを楽しめる人材を期待します。

当日冒頭スライドでご説明した通り、研究に取り組むにあたっての論理的思考力や周囲の巻き込み力を期待しております。

自身の専攻に限らず、様々な分野で活躍することを目指してほしいと考えます。